

「幕張新都心若葉住宅地区小学校（仮称）新設に伴う地区住民説明会」 質疑応答要旨

令和6年2月17日（土）10:00~11:00

千葉市立打瀬小学校

【学区について】

- Q. 学区制のため原則は指定の学校に通学とあり、特例として、令和8年度の新6年生は引き続き打瀬小への学区外通学が認められるとあるが、それ以外に例外はないのか。
- A. 学区外申請の承認事由に該当する場合には、学区外通学が認められる場合があります。学区外通学の承認事由は下記 HP に掲載しております。

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/gakuji/gakkugaituugaku.html>

なお、最終的な対応につきましては、開校前年に学区を決定する際に定めることとします。

【令和8年度の水泳学習について】

- Q. プールの完成が令和8年度中とのことだが、その間の水泳学習はどうするのか。
- A. まず、プールの完成が令和8年度2月頃となったことにつきましては、プール建設予定地を残土仮置場や仮設ヤードとして使用することで工期短縮を図り、本校舎やグラウンドを令和7年度中に完成させる方針としたという経緯がございます。
- 令和8年度中の水泳学習につきましては、外部委託や近隣校のプール活用、場合により水遊びや水泳運動を安全に行うための心得の学習等による対応を検討しています。
- 具体的には、今後の児童数の推計や近隣校のプール使用率の状況等を踏まえて、検討していきます。

【打瀬中学校の生徒数推移見込みについて】

- Q. 児童生徒数の推移見込みについて、最高で小学校は約1,600人、中学校は約800人の見込みであるとのことである。打瀬中学校区は新設校を合わせると小学校が4校あり、合わさるとかなりの数となると思うが、中学校は1校のままでよいのか。
- A. 打瀬中学校区である打瀬地区（ベイタウン）の子ども数が大幅な減少傾向であること、小学校6学年と異なり中学校は3学年であること、打瀬中学校区は私立中学校等への進学率が高いなどの地域特性があることなどから、打瀬中学校につきましては、資料のような生徒数の推移を見込んでおり、打瀬中学校のみで対応可能と考えています。

【グラウンドについて】

- Q. 打瀬小や近隣の学校と比べてといった観点で、新設小のグラウンドの広さのイメージを教えてください。
- A. 敷地面積でいいますと、新設小は約18,000㎡で、打瀬小の約16,000㎡、海浜打

瀬小及び美浜打瀬小の約17,000㎡と比べて広がっております。また、幕張総合高校側に校舎及び体育館をよせて配置することで、できる限りグラウンドを広くとるように工夫しております。将来的に児童が増加した場合の増築スペースとしても想定されている芝生広場もあり、かなり広くグラウンド部分を使えると考えております。

なお、150mトラックや直線での50m、小学生用のサッカーコート等、教育課程上必要なものが確保できる広さとなっております。

【通学路の安全対策について】

- Q. 新設小は周辺を大きな道路に囲まれているが、通学路の安全対策についてどう考えているか。今後、歩道にガードレールの設置等を行うのか。
- A. ガードレールの設置については、現状では未定です。令和6年度に道路管理者、交通管理者、学校関係者の三者で合同点検を行い、安全対策が必要な箇所の確認を行います。また、合同点検においてハード面で対策が必要な箇所があれば、対策を実施していきます。

【防災拠点について】

- Q. 若葉住宅地区には現在自治会が存在していないが、今後具体的にどのように避難所開設を行っていくのか。
- A. 令和8年度の開校以降に、新設小が避難所に指定された後、自治会の有無にかかわらず、区役所と地域住民で準備会を行うなどし、避難所運営委員会設立に向けて準備を進めていくこととなります。

【開校時の児童数等について】

- Q. 開校当初は各学年の人数にばらつきがでると考えている。例えば、新6年生は打瀬小への通学も可とあり、新設小の6年生が少なくなることも考えられる。行事など、人数が少なく盛り上がり上がらなくなってしまうのではないかと心配している。若葉住宅地区の全マンションの入居が終わっていない段階での検討とはなるが、今後の状況で学区の変更等はあるのか。
- A. 学区につきましては、最終的には令和7年度に決定する予定であり、あくまで現時点の想定学区となります。さらに、資料（スライド9）の児童数推計はB3街区の児童が全員新設小に転入した場合の想定となります。

開校時の児童数及び学級数の想定は、児童数は全校320名程度で、学級数は1・2学年は3学級、3・4学年は2学級、5・6学年は1学級の全12学級を見込んでいます。各個人の事情はあるとは思いますが、新設校では、全てを新しく作り上げていくという新設校でしか味わえない場面が多く経験できます。特に6年生は新設校の第1期卒業生となります。学校のリーダーとして学校の礎を築くといった貴重な経験ができると考えておりますので、ぜひ、希望と期待をもって転校していただきたいと思っております。

【保護者会（PTA）について】

- Q. 打瀬小では保護者会があると聞いたが、新設小の保護者会や PTA はどうなるのか。
- A. PTA や保護者会は任意団体であるため、教育委員会が設置するかどうかを決めることではありません。新設校の保護者と学校とが協議し決めることとなります。

【教職員について】

- Q. 新設小の教職員は全て外部から異動してくる人なのか、それとも打瀬小から移ってくるのか。児童にとって、見慣れた先生と継続して生活していけるかは重要であると思う。
- A. 千葉市の定数配置基準に照らし合わせ、年齢構成・男女比率、本人の希望などを考慮し、新設校の基礎づくりとなる教員の配置であることを念頭に適正配置に努めてまいります。現時点では人数などは決まっていますが、打瀬小から一定数の教員が異動することを想定しています。

※以下、当日の質疑応答ではありませんが、事前受付で意見の多かった質問とそれに対する回答を記載いたします。

【学区について】

- Q. 打瀬小の通学区域とされた地域から新設小に通学することはできるか。
- A. 千葉県は学区制のため、原則指定された学校への通学となりますので、新設小へ通学することはできません。学区外申請の承認事由に該当する場合に限り、学区外通学が認められる場合があります。

【学用品等について】

- Q. 打瀬小から新設小に転入した場合、学用品はそのまま使えるか。
- A. これまでの分離・新設校の例では、保護者負担軽減の観点から、学用品や体操服、上履きなどをそのまま使用し、買い替えるときには新しい学校のものに替えていただくようにしています。

【通学用かばんについて】

- Q. 児童のかばんについては、ランドセルだけでなくリュック等も選択肢に入れてほしい。
- A. ランドセルの使用については、特に指定はありません。安全面から、登下校時に両手が空くように背負える物や、防災上しっかりと素材の物を推奨する場合がありますが、基本的にはご家庭の判断になります。お子さんとご相談ください。

【教育方針について】

- Q. 教育方針は、どのようにして決められるのか。
- A. 教育方針の基本は、「千葉県学校教育推進計画」に示されています。国・県・市の教育の動向や学校を取り巻く状況等をよく把握しながら、校長を中心に全教職員で、保護者や地域の方々の願い、子どもの実態をもとに決定します。